

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 18 日 (2021.11.18)

【公開番号】特開 2020-173961 (P2020-173961A)

【公開日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2020-043

【出願番号】特願 2019-74919 (P2019-74919)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/58 (2006.01)

H 0 1 R 13/56 (2006.01)

H 0 1 R 31/08 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/58

H 0 1 R 13/56

H 0 1 R 31/08 Q

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 5 日 (2021.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

挟持部が加圧部に押圧されることによって電線と端子とが接続されているので、電線の外周にバレルを圧着する際に必要とされる金型が不要となり、ジョイントコネクタの製造コストを低減できる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

[バスバー 5 0]

図 4 に示されるように、バスバー 5 0 は金属板材を所定の形状にプレス加工することにより形成される。金属板材としては、銅、銅合金等、任意の金属を適宜に選択できる。バスバー 5 0 は、後方に延びる複数（本実施形態では 4 個）のタブ 5 2 と、タブ 5 2 の前端部を、中継部 5 3 を介して連結部する連結部 5 4 と、を有する。タブ 5 2 は、左右方向に扁平な板状をなしている。連結部 5 4 は、上下方向に扁平な板状をなしている。中継部 5 3 は、連結部 5 4 から後方に延びて形成されている。中継部 5 3 の右側縁は下方に折れ曲がって、タブ 5 2 に連なっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

筒部 1 7 内に前方からバスバー 5 0 のタブ 5 2 が挿入される。タブ 5 2 と、弾性接触片 1 9 とが接触することにより、タブ 5 2 と端子 1 2 とが電氣的に接続される。これにより

、複数の端子 12 がバスバー 50 を介して電氣的に接続される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

本実施形態によれば、アップーカバー 60 は、ロアハウジング 30 から後方に導出された複数の電線 11 を、ロアハウジング 30 に向かって押さえる電線押え部 65 を有する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

ロアハウジング 81 の前端部には、バスバー挿入孔 87 の上方に、複数（本実施形態では 4 つ）の型抜き孔 88 が前後方向に延びて形成されている。各型抜き孔 88 の内部には、端子 84 と弾性的に係わり合って端子 84 をキャビティ 85 内に抜け止め保持するランス 89 が形成されている。ランス 89 は、キャビティ 85 の上壁から前方に延びた形状をなしている。ランス 89 の前端部と、端子 84 の筒部 90 の上壁とが係わり合うようになっている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

10, 70, 80 : ジョイントコネクタ

11 : 電線

12, 84 : 端子

13 : 芯線

14 : 絶縁被覆

15 : 端子本体

16 : スライド部

17, 90 : 筒部（バスバー接続部の一例）

18A : 上側挟持部

18B : 下側挟持部

19 : 弾性接触片

20, 92 : 電線接続部

23A : 上側保持突部

23B : 下側保持突部

25A : 上側加圧部

25B : 下側加圧部

26 : 仮係止受け部

27 : 本係止受け部

28 : 係止突起

29, 85 : キャビティ

30, 81 : ロアハウジング

31 : 隔壁

32 : バスバー載置部

3 3 : ロック受け部
3 4 : ヒンジ
3 5 : 曲がり部
3 7 , 9 3 : 電線保持部
4 6 : 治具接触部
4 7 : 誘い込み部
5 0 , 8 3 : バスバー
5 2 , 9 1 : タブ
5 3 : 中継部
5 4 : 連結部
6 0 , 8 2 : アッパーカバー
6 1 : 上壁
6 3 , 9 5 : 端子係合部
6 3 F : 前端子係合部
6 3 R : 後端子係合部
6 4 : バスバー保持部
6 5 , 9 6 : 電線押え部
6 6 , 9 4 : ロック爪
8 6 : 切り欠き部
8 7 : バスバー挿入孔
8 8 : 型抜き孔
8 9 : ランス
9 7 : 曲面